



TITLE:

付録

AUTHOR(S):

CITATION:

付録. CIRAS discussion paper No.95 : 装いと規範 3 -- 「伝統」と「ナショナル」を問い直す 2020, 95: 49-49

ISSUE DATE:

2020-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/252517>

RIGHT:

© Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University

ワークショップ
装いと規範 第3回

日時：2020年2月10日(月)13:30-17:30

場所：京都大学東南アジア地域研究研究所
稲盛財団記念館2階213号室(セミナー室)

プログラム

13:30-13:40 趣旨説明

帯谷 知可(京都大学東南アジア地域研究研究所)／後藤 絵美(東京大学東洋文化研究所)

13:40-16:40 報告

報告1

アジアにおける学生服——日本・中国・シンガポールを中心に

劉 玲芳(大阪大学日本語日本文化教育センター)

報告2

衣服をめぐる人間との関係——現代社会における和服の変容より

小形 道正(京都服飾文化研究財団)

報告3

グローバル経済とナショナル・ドレスのファッション・トレンド
——インド・ウエスタンとGIプロダクト・サリーをめぐる

杉本 星子(京都文教大学総合社会学部)

16:40-17:00 コメント

貴志 俊彦(京都大学東南アジア地域研究研究所)／森 理恵(日本女子大学家政学部)／帯谷 知可

17:00-17:30

ディスカッション

主 催：*新学術領域研究「グローバル関係学」(グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて——関係性中心の融合型人文社会科学の確立)研究計画B01「規範とアイデンティティ——社会的紐帯とナショナリズムの間」(研究代表者：酒井啓子)

共 催：*京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS 共同利用・共同研究「中央ユーラシアのムスリム地域社会における家族と規範」(2019年度、研究代表者：磯貝真澄)

